

災害のためにおぼえておこう

避難に関する情報の種類とその対応

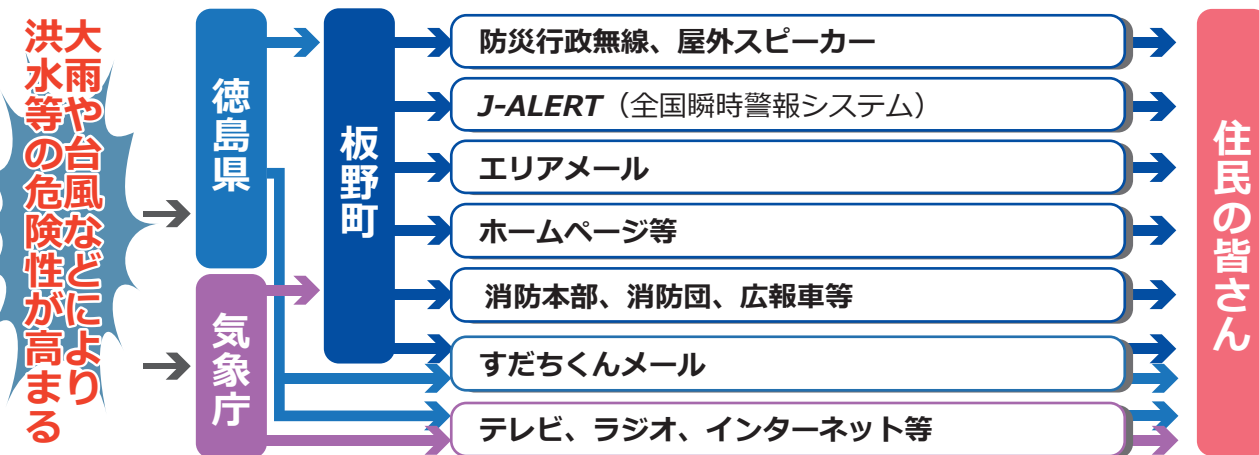
災害の危険性が高まった際に、町から防災行政無線や広報車、屋外スピーカーなどによって住民の皆様へ次の避難に関する情報が伝達されます。情報の内容を理解し、必要な対応を心がけましょう。

避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
人的被害の発生する可能性が高まった場合 ●避難準備を開始 ●高齢者など避難に時間がかかる方は早めに避難	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった場合 ●安全な避難場所への避難行動を開始	人的被害の危険性が非常に高まった場合 ●ただちに避難 ●避難が間に合わない場合、生命を守る最低限の行動



避難情報等の伝達方法

気象情報や避難に関する情報は、主に次の方法で伝達されます。



災害時の緊急情報の確認方法

下記に示す様々な情報入手の手段を確認し、どんな状況でも緊急情報を入手できるように備えておきましょう。

●徳島県総合地図提供システム http://maps.pref.tokushima.jp/	津波浸水想定や洪水浸水想定区域、土砂災害危険箇所など、徳島県内の防災・減災に役立つ情報等を公開しています。	
●国土交通省 川の防災情報 http://www.river.go.jp	●すだちくんメール https://s.ourtokushima.jp	
●気象庁 http://www.jma.go.jp	●徳島県防災・危機管理情報 https://anshin.pref.tokushima.jp	
●FMラジオ放送 FM 徳島 : 80.7 MHz FM NHK : 83.4 MHz	●AMラジオ放送 NHK : 945 MHz 四国放送 : 1269 MHz	●地上デジタル放送 (dボタン) NHKデータ放送(dボタン)で避難勧告の発令や避難所の開設状況等の避難情報が確認できます。

地域みんなで助けあおう

自助を基本に、「自主防災組織」との連携を図ろう

南海トラフ巨大地震のように、激甚で広域的な災害の場合、行政の対応にも限界があります。また過去の大規模地震の際、家屋の下敷きになり、自力で脱出できなくなった住民をいち早く助け出したのは、地域の住民でした。災害は想定通りにいかないといわれていますが、それでも地域住民一人ひとりが災害に備え、いざという時に、隣近所の方々と力を合わせ、助けあうことが何よりも大切です。

平常時にすべきことは？

■地域住民への防災知識の普及

防災対策においては、まず住民一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地域に防災知識を普及させるため、みんなが集まれる楽しいイベントなどを開催してみましょう。

■防災巡視・防災点検

防災の基本は、自分の住まわちをよく知ることです。地域内の危険箇所や防災上の問題点を洗い出しておきましょう。改善すべき点があれば、対策を立てて解決していきましょう。



■防災資機材の整備

防災資機材は、災害時に活躍します。地域の実情に応じて、必要な資機材を準備しておきましょう。また、日頃からの点検や使い方の確認も忘れずに行いましょう。

■防災訓練

防災訓練は、いざという時に的確な判断をするために欠かせないものです。地域の参加を積極的に呼びかけ、地域一丸となって防災訓練を行いましょう。



災害時にすべきことは？

■情報の収集・伝達

公的防災機関と連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達します。また、地域の被害状況や浸水の状況を取りまとめます。

■救出活動

負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動を行います。ただし、救出作業は危険を伴う場合がありますので、二次被害に十分注意してください。

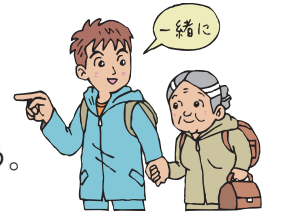


■医療救護活動

大規模災害時には大量の負傷者が出ることが想定されるため、すぐに医師による治療が受けられるとは限りません。その場合は応急手当てを行い、救護所へ搬送しましょう。

■避難誘導

住民を避難所などの安全な場所に誘導します。避難経路は災害の状況により変化するため、公的防災機関と連絡を取り合うなど、正確な情報に基づき誘導しましょう。



■給食・給水活動

食料や水、応急物資などを配分します。また、必要に応じて炊き出しなどの給食、給水活動を行います。